

2022年度

# 一般選抜B日程

世界史B

[60 分]

【第1問】南北アメリカ文明の形成とその特徴に関する次の文章AとBを読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

アメリカ大陸には、かつて（ア）がアジアと地続きであった時代に、(a)モンゴロイド系と思われる人々が渡来していた。彼ら先住民は、15世紀から始まった（イ）にこの地に渡ってきたヨーロッパ人によって、(b)「インディオ」とか「インディアン」と呼ばれることになった。アメリカという名称も、後に南アメリカを探検した(c)アメリゴ＝ヴェスプッチの名に由来するものであった。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ベーリング海峡
- ②マゼラン海峡
- ③マラッカ海峡
- ④ジブラルタル海峡

問2 下線部(a)モンゴロイドに関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①人種による分類概念の一つである。
- ②民族による分類概念の一つである。
- ③言語による分類概念の一つである。
- ④文化による分類概念の一つである。

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①大空位時代
- ②大開墾時代
- ③大航海時代
- ④ルネサンス時代

問4 下線部(b)彼ら先住民が「インディオ」とか「インディアン」と呼ばれた理由として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①当時、ヨーロッパ人は、ヨーロッパ以外の地をすべて「インド」と呼んでいたから。
- ②彼らがインド＝ヨーロッパ語族の言語を話していたから。
- ③アメリカ大陸に到達したヨーロッパ人が、ここを当初「インド」の一部だと思いこんだから。
- ④アメリカ大陸がイギリスの東インド会社の拠点に近かったから。

問5 下線部(c)アメリゴ＝ヴェスプッチに関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ヨーロッパ人として初めてブラジルに到達した。
- ②アメリカを独立した大陸とあらわした世界地図を初めて作製した。
- ③南アメリカを探検した見聞をもとに、『世界の記述』を著わした。
- ④彼の探検によって、その土地がアジアとは別の大陸であることが明らかになった。

B

アメリカ大陸には先住民が築いた独自の文明があり、ユーラシア大陸の文明とは別に独自の発展をとげていった。その例としては、紀元前1200年頃までにメキシコ湾岸で成立し、その後周辺に影響を与えた（ウ）があげられる。(d)さらに、前1000年頃から16世紀にかけて展開したマヤ文明、14世紀に王国をつくったアステカ文明や、広大な帝国を形成したインカ文明などもある。

なかでも(e)インカ帝国は、(f)マチュ＝ピチュの遺跡にあるように建造技術にすぐれていた。また、灌漑施設を利用した農業をおこなっていたことも注目される。ここでは、太陽崇拝がおこなわれ、国王は太陽の化身とされた。

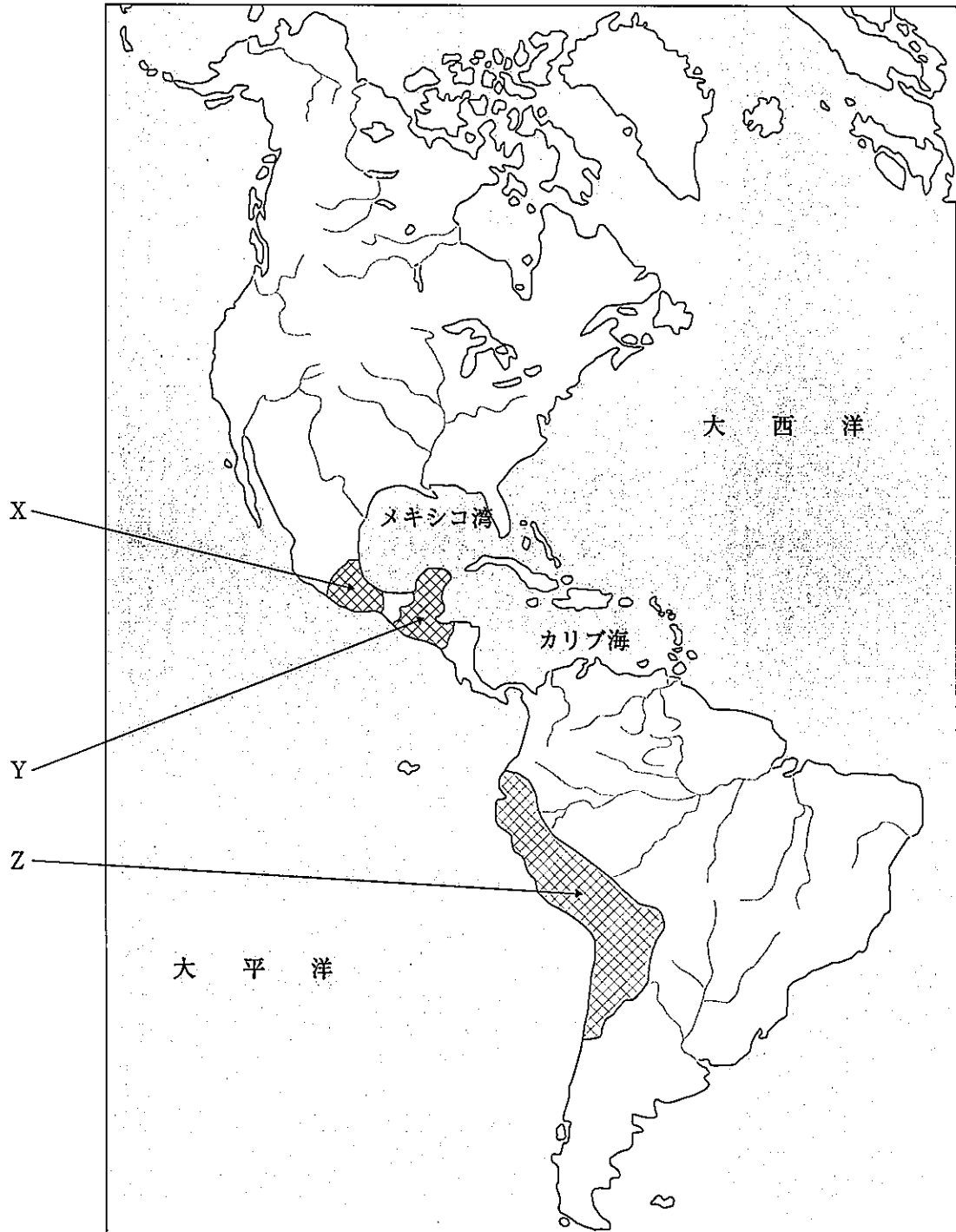
これら、中央アメリカや南アメリカのほかに、現在のアメリカ合衆国やカナダにほぼあたる(g)北アメリカにも先住民が既に定着しており、独自の世界が広がっていた。こうした先住民の歴史や文明について学ぶことの意味は大きい。

問6 空欄（ウ）に入る語句と、その文明の特徴に関する説明の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①オルメカ文明—宗教色の強さ
- ②オルメカ文明—宗教色の希薄さ
- ③テオティワカン文明—宗教色の強さ
- ④テオティワカン文明—宗教色の希薄さ

問7 下線部(d)マヤ文明、アステカ文明、インカ文明はそれぞれどの地域で展開したか。下の地図【I】を参照し、地域X、Y、Zとそれぞれの文明の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 7

地図【I】



- |              |            |            |
|--------------|------------|------------|
| ① X : マヤ文明   | Y : アステカ文明 | Z : インカ文明  |
| ② X : マヤ文明   | Y : インカ文明  | Z : アステカ文明 |
| ③ X : アステカ文明 | Y : マヤ文明   | Z : インカ文明  |
| ④ X : アステカ文明 | Y : インカ文明  | Z : マヤ文明   |

問8 下線部(e)インカ帝国に関する説明として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①文字は使用されていなかった。
- ②キープという結縄で記録を残した。
- ③クスコを中心に成立した。
- ④鉄器を使用し、軍事力に長けていた。

問9 下線部(f)マチュ=ピチュの遺跡に関する説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①チリの高地にある。
- ②石を使用した建造物である。
- ③その存在が広く確認されたのは、19世紀になってからである。
- ④ジャガーの神格化が見られたのは、歴史上、この遺跡だけである。

問10 下線部(g)に関する説明X、Y、Zについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：先住民は氷期に移動してきた。

Y：北アメリカの先住民の生活は、狩猟と採集が中心であった。

Z：北アメリカは、メソアメリカとも呼ばれている。

- ①X：正 Y：正 Z：正
- ②X：正 Y：正 Z：誤
- ③X：誤 Y：正 Z：正
- ④X：誤 Y：正 Z：誤
- ⑤X：誤 Y：誤 Z：正
- ⑥X：誤 Y：誤 Z：誤

【第2問】 清の支配や思想・文化に関する次の文章AとBを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

長く続いていた明の時代も、末期になると重税と飢饉により、各地で反乱がおきていた。1644年、（ア）の反乱軍が北京を占領し、明はついに滅んだ。明にかわって中国を支配することになったのが、清である。明が滅亡すると、清は都を北京に移し、中国全土へと支配を広げた。また、清に降伏し、協力した明の呉三桂ら3名の漢人武将を藩王に任命した（三藩）。

しかし、しだいに藩王の力が増したため、清が(a)三藩の撤廃をはかると、呉三桂らによって三藩の乱がおこった。（イ）は、(b)台湾を占領して、清に抵抗していた(c)鄭氏を降伏させるとともに、三藩の乱を鎮圧した。ここに、清朝統治の基礎が固まった。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①李世民
- ②李自成
- ③李成桂
- ④李時珍

問2 下線部(a)の三藩とはどこに置かれたか、次の①から④の中から最も適当なものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ①都の置かれた北京の周辺
- ②ロシアに近い北方
- ③雲南・広東・福建などの南方
- ④内陸部の辺境地帯

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①文帝（楊堅）
- ②洪武帝
- ③康熙帝
- ④永楽帝

問4 下線部(b)台湾は1661年に外国人を駆逐して鄭氏が占領したが、その外国人として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①日本人
- ②ポルトガル人
- ③スペイン人
- ④オランダ人

問5 下線部(c)に関連して、鄭氏の一人であった鄭成功に関する説明として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①国姓爺とは、清の煬帝が反抗的な彼に対してつけた異名である。
- ②鄭芝竜を父、日本人を母として平戸で生まれた。
- ③武装貿易船団を率いて、活動をおこなっていた。
- ④日本に援助を要請し、清とたたかった。

B

(d)清朝の前半は有能な皇帝が続き、(ウ)などの編纂事業をおこした。また、(e)漢人を含めて軍制や官僚組織を整備した。しかし、反清的な言論や思想はきびしく弾圧した。これを(エ)という。(f)清朝の前半は、外国と条約を締結し、対外関係の安定化もはかった。

問6 下線部(d)この時期の清朝の皇帝に関する説明として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①科挙・官制などは明の制度をほぼ受け継ぎ、中国王朝の伝統を維持する姿勢を見せた。
- ②モンゴル帝国のハンの伝統は捨て去った。
- ③雍正帝や乾隆帝などがその例である。
- ④彼らは明朝時代から使われていた紫禁城で政務をとった。

問7 空欄(ウ)に入る書物の名称として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①『本草綱目』
- ②『崇禎曆書』
- ③『幾何原本』
- ④『古今圖書集成』

問8 下線部(e)清代の軍制や官僚組織に関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①緑営とは漢人とモンゴル人で組織する軍制であった。
- ②軍事・行政組織の八旗は、漢人のみから構成された。
- ③中央官制の要職の定員については、満州人と漢人を同数とした。
- ④軍に所属した漢人に対しては、辮髪を強要しなかった。

問9 空欄（エ）に入る思想統制・言論弾圧の名称として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①六諭
- ②焚書
- ③坑儒
- ④文字の獄

問10 下線部(f)に関して、X清が17世紀に外国との間に定めた条約名とY相手国名、Z条約の説明の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- |             |        |              |
|-------------|--------|--------------|
| ①X：ネルチンスク条約 | Y：ロシア  | Z：両国の国境を定めた。 |
| ②X：ネルチンスク条約 | Y：ベトナム | Z：朝貢関係を結んだ。  |
| ③X：イリ条約     | Y：ロシア  | Z：両国の国境を定めた。 |
| ④X：イリ条約     | Y：ベトナム | Z：朝貢関係を結んだ。  |
| ⑤X：アイグン条約   | Y：ロシア  | Z：両国の国境を定めた。 |
| ⑥X：アイグン条約   | Y：ベトナム | Z：朝貢関係を結んだ。  |



【第3問】ヨーロッパにおける国民国家の建設と国際関係に関する次の文章AとBを読むとともに、地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

ヨーロッパでは(a)1848年革命によって、自由主義的理念にもとづく国民運動が展開したが、やがて運動は挫折した。その後、イタリアとドイツの統一運動は、それぞれサルデーニャ王国とプロイセン王国の勢力拡大と結びついて展開された。サルデーニャ王国では（ア）が首相となって、産業の振興や近代化のための改革につとめた。また、サルデーニャ王国は(b)ナポレオン3世と密約を結び、1859年(c)オーストリアと開戦し、勝利することで、領土を得た。サルデーニャ王国はその後領土を拡大し、1861年に、イタリア王国が成立した。

一方、(d)ドイツの国家統一はプロイセンを中心に展開した。1862年にプロイセンの首相となったビスマルクは、議会の反対を押し切って富国強兵政策を推進した。

問1 下線部(a)1848年革命に関する説明として誤っているものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①パリでは2月に革命がおこり、国王ルイ＝フィリップは亡命した。
- ②ウィーンでは3月に蜂起がおこり、メッテルニヒは失脚した。
- ③ベルリンでは3月に民衆が蜂起し、自由主義的内閣が成立した。
- ④ロンドンではオコンネルらにより、4月にカトリック教徒解放運動がおきた。

問2 空欄（ア）に入る人の名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カヴール
- ②ガリバルディ
- ③マッツイーニ
- ④ムッソリーニ

問3 下線部(b)ナポレオン3世に関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ナポレオン1世の孫にあたり、1851年にクーデタをおこした。
- ②国民投票の結果、帝位についた。
- ③イギリスと対立し、保護関税政策をとった。
- ④クリミア戦争では、オスマン帝国と敵対した。

問4 下線部(c)オーストリアとのこの戦争で獲得した領土として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ニース
- ②サヴォイア
- ③ヴェネツィア
- ④ロンバルディア

問5 下線部(d)ドイツの国家統一に関する説明XとYについてその正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：大ドイツ主義とは、オーストリアのドイツ人地域とパーメンを含む統一方式を意味した。

Y：小ドイツ主義とは、プロイセンを中心にザクセンを排除しておこなう統一方式を意味した。

- ①X：正 Y：正
- ②X：正 Y：誤
- ③X：誤 Y：正
- ④X：誤 Y：誤

B

プロイセンは1864年に、オーストリアとともに（イ）と開戦し、(e)シユレスヴィヒ・ホルシュタインの2地域を奪った。しかし、1866年にはその管理をめぐって、オーストリアと対立し、これを破った。ドイツ連邦は解体され、プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦が成立した。さらに、ビスマルクは(f)スペイン王位継承問題に介入したナポレオン3世を挑発し、1870年、プロイセン＝フランス戦争をおこした。プロイセンはフランスを圧倒し、スダンでナポレオン3世を降伏させた後、翌1871年、（ウ）で(g)プロイセン国王がドイツ皇帝の位につき、ここにドイツ帝国が成立した。フランスはドイツに(h)アルザス・ロレーヌの2地域を割譲し、莫大な賠償金を課せられた。

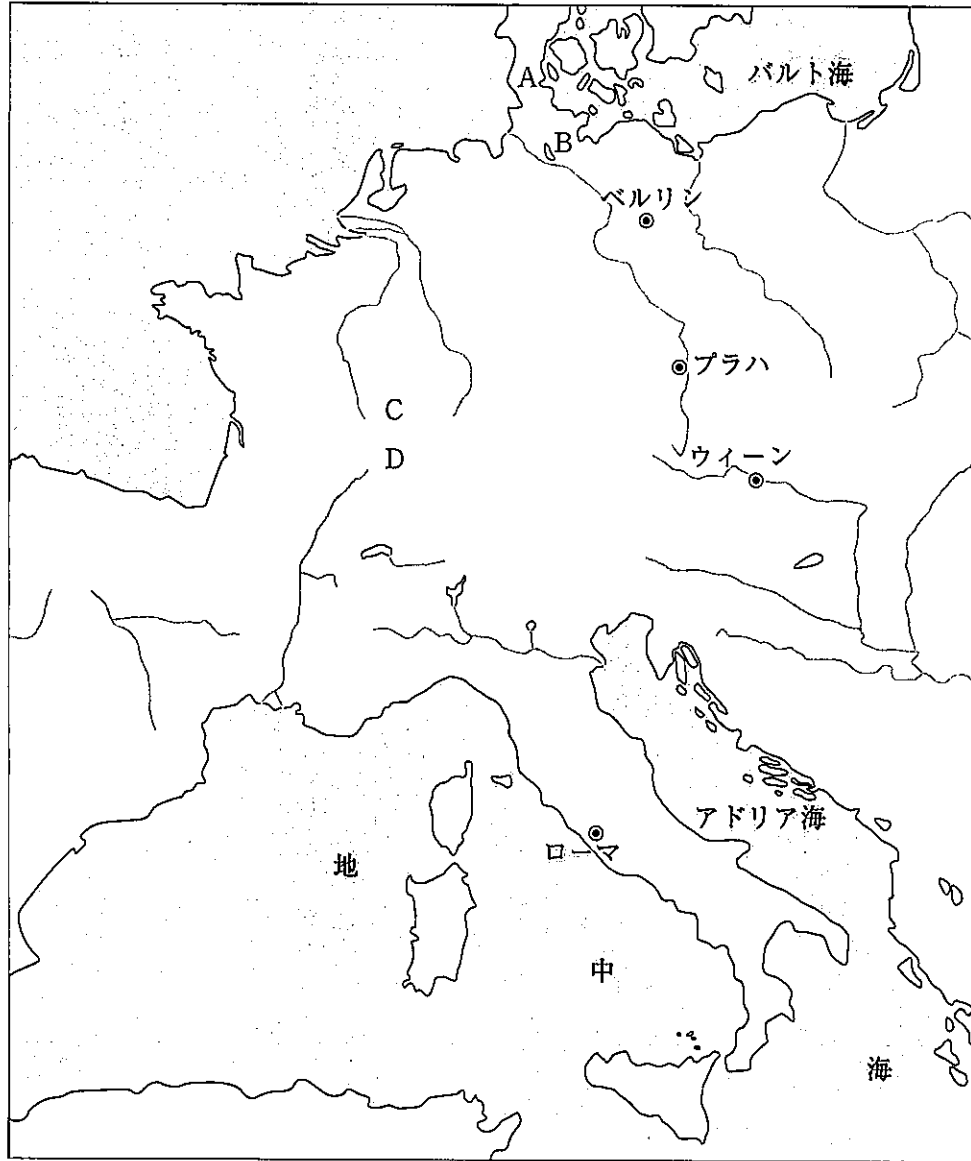
問6 空欄（イ）に入る国名として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①オランダ
- ②デンマーク
- ③スウェーデン
- ④フィンランド

問7 下線部(e)シュレスヴィヒ・ホルシュタインと、下線部(h)アルザス・ロレーヌの位置はおおよそそれぞれどこにあるか。下の地図【Ⅱ】を参照し、それぞれの地域とAからDの組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

27

地図【Ⅱ】



- |            |           |        |        |
|------------|-----------|--------|--------|
| ①A：シュレスヴィヒ | B：ホルシュタイン | C：アルザス | D：ロレーヌ |
| ②A：シュレスヴィヒ | B：ホルシュタイン | C：ロレーヌ | D：アルザス |
| ③A：ホルシュタイン | B：シュレスヴィヒ | C：アルザス | D：ロレーヌ |
| ④A：ホルシュタイン | B：シュレスヴィヒ | C：ロレーヌ | D：アルザス |

問8 下線部(f)スペイン王位継承問題は18世紀初頭にもおきており、最終的にユトレヒト条約が締結されたが、この条約に関する説明X、Y、Zについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：フランス、スペイン両国は合同し、ルイ14世の孫（フェリペ5世）をスペイン王につけた。

Y：スペイン王家を継承したのは、フランスのプランタジネット家であった。

Z：イギリスはスペインやフランスから領土を獲得した。

- ①X：正 Y：正 Z：正
- ②X：正 Y：正 Z：誤
- ③X：正 Y：誤 Z：正
- ④X：誤 Y：正 Z：正
- ⑤X：誤 Y：誤 Z：正
- ⑥X：誤 Y：誤 Z：誤

問9 空欄（ウ）の場所の名称として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①バッキンガム宮殿
- ②サンスーシ宮殿
- ③アルハンブラ宮殿
- ④ヴェルサイユ宮殿

問10 下線部(g)このとき、ドイツ皇帝の位についたプロイセン王の名として最も適当なものを、次の①から⑥の中かから一つ選び、番号で答えなさい。

- ①フリードリヒ＝ヴィルヘルム1世
- ②ヴィルヘルム1世
- ③フリードリヒ2世（大王）
- ④ヴィルヘルム2世
- ⑤ヨーゼフ1世
- ⑥ニコライ1世

【第4問】冷戦の開始とその激化に関する次の文章AとBを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A

(a)第二次世界大戦中、アメリカと(b)ソ連は同じ連合国として協力したが、大戦末期から両国の関係は冷却しはじめ、戦後になると、アメリカを中心とする自由主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営との間に、(c)冷戦と呼ばれる深刻な対立がうまれた。1947年に、アメリカのトルーマン大統領はソ連の拡大を封じ込めるため、(ア)と(イ)に対し、援助を与えるトルーマン＝ドクトリンを発表した。また、マーシャル国務長官はヨーロッパ経済復興援助計画（マーシャル＝プラン）を発表した。西欧諸国が援助を受け入れたのに対して、ソ連と東欧諸国はこれを拒否し、各国共産党の情報交換機関として、1947年に(ウ)を結成した。

問1 下線部(a)第二次世界大戦中の出来事に関する説明として最も適当なものを、次の①から

④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ミュンヘン会談で、バルカン半島のドイツへの割譲が承認された。
- ②ポーランドはドイツとイタリアに占領され、両国で分割された。
- ③1941年、連合国は太平洋憲章で戦後の世界秩序を示していた。
- ④テヘラン会談にもとづいて、連合軍はノルマンディー上陸を敢行した。

問2 下線部(b)第二次世界大戦中のソ連に関する説明として誤っているものを、次の①から④

の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ラトヴィア・エストニア・クロアチアのバルト3国を併合した。
- ②ルーマニアから領土を割譲させた。
- ③フィンランドに宣戦した。
- ④日ソ中立条約の破棄を日本に通告してきた。

問3 下線部(c)冷戦期の出来事に関する説明として誤っているものを、次の①から④の中から

一つ選び、番号で答えなさい。

- ①1949年、ドイツは西ドイツ（ドイツ連邦共和国）と東ドイツ（ドイツ民主共和国）に分断された。
- ②1956年、自由化の波及を恐れたソ連は、ポーランドに軍事介入し、首相のナジ＝イムレは後に処刑された。
- ③1961年、東ドイツ政府は東西ベルリンの境界に壁を築き、脱出者を阻止した。
- ④1962年、キューバでソ連の支援によるミサイル基地の建設が発覚すると、アメリカのケネディ政権は海上封鎖を実施し、米ソの緊張が一時高まった。

問4 空欄（ア）と空欄（イ）に入る国名の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

- ①ア：ギリシア イ：イタリア
- ②ア：イタリア イ：トルコ
- ③ア：ギリシア イ：トルコ
- ④ア：トルコ イ：ルーマニア

問5 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

- ①コミンテルン
- ②コメコン
- ③コミンフォルム
- ④インターナショナル

B

日本の敗戦後、朝鮮半島は北緯38度線を境に、米ソで分割管理された。(d)1948年にはここに(e)二つの国が南北に成立した。1950年、(f)朝鮮戦争が勃発すると、国際連合の安全保障理事会(安保理)では、(エ)が欠席するなか、アメリカを中心とする軍が派遣され、東西の冷戦は局地的な戦争に発展した。一方、日本は1951年の(オ)講和会議で(g)平和条約に調印した。

問6 下線部(d)1948年にアジアでおきた出来事に関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 36

- ①インドとバングラデシュが分離してそれぞれ独立した。
- ②インド独立の父、ネルーが暗殺された。
- ③スリランカ(セイロン)がフランスから独立した。
- ④ユダヤ人がイスラエルの建国を宣言したのに対して、アラブ連盟が反対した。

問7 下線部(e)の二つの国に関する説明X、Y、Zについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 37

X：金日成を初代首相とする朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が北部に成立した。

Y：朴正熙を初代首相とする大韓民国（韓国）が南部に成立した。

Z：朝鮮半島では38度線を挟んで攻防が続き、休戦協定もまだ結ばれていない。

①X：正 Y：正 Z：正

②X：正 Y：正 Z：誤

③X：正 Y：誤 Z：誤

④X：誤 Y：正 Z：正

⑤X：誤 Y：正 Z：誤

⑥X：誤 Y：誤 Z：正

問8 空欄（エ）と空欄（オ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 38

①エ：ソ連 オ：ワシントン

②エ：ソ連 オ：サンフランシスコ

③エ：中華民国 オ：ワシントン

④エ：中華民国 オ：サンフランシスコ

問9 下線部(f)朝鮮戦争の原因や展開に関する説明として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 39

①南北統一をめざす韓国軍が38度線を越えて北朝鮮へ侵攻したのが原因である。

②中国は北朝鮮を支援して、紅衛兵を派遣した。

③アメリカは国連安保理の勧告がなされないうちに、韓国に支援に向かった。

④この戦争を機に、アメリカは「巻き返し政策」を掲げ、同盟網を強化した。

問10 下線部(g)の平和条約に関する説明X、Y、Zについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 40

X：日本は全ての交戦国と平和条約を結んだ。

Y：日本はこの条約の調印と同時に、国際連合への加盟が認められた。

Z：この条約の調印と同時に、日米安全保障条約が改定された。

①X：正 Y：正 Z：正

②X：正 Y：正 Z：誤

③X：正 Y：誤 Z：誤

④X：正 Y：誤 Z：正

⑤X：誤 Y：正 Z：正

⑥X：誤 Y：誤 Z：誤